

道路事業事前評価調書

路線・河川等名	一般府道私市大江線 <small>（相長橋）</small> <small>きさいち あいおさ</small>	事業名	防災・安全交付金事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所（区間）	福知山市私市地内		
事業概要	目的	<p>一般府道私市大江線は、綾部市私市町を起点に福知山市大江町へ至る道路であり、地域防災拠点へのアクセスルートとして重要な道路である。</p> <p>相長橋は一級河川相長川にかかる、昭和43年度完成の延長8.5mのコンクリート橋であり、幅員狭小のうえ老朽化による損傷が顕著である。</p> <p>また、相長川の当該箇所では国が進めている一級河川由良川の緊急水防災事業と合わせて、河川改修が行われている。</p> <p>本事業は、河川改修と合わせ、老朽化橋梁の架け替えを実施することで、幅員を拡幅し、円滑な車両交通を確保するものである。</p>			
	内容	<p>整備延長：約140m（橋長：22.6m）</p> <p>計画幅員：W=7.5m、2車線 事業費：約2.0億円</p>			
	上位計画等	明日の京都 中丹地域振興計画			
事業の社会経済情勢及び地元情勢等必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量：972台/日（H27センサス） ・自転車交通量：21台/12時間（H27センサス） ・歩行者交通量：48人/12時間（H27センサス） <p>相長川の河川改修において河川幅の拡幅による断面確保が行われることから橋梁の架け替えが必要である。</p> <p>道路幅員が狭く老朽化しているため、早期の架け替えが求められている。</p>				
事業の効果及び費用対便益等有効性	<p>○車道2車線橋梁を架けることで、安全で円滑な車両交通を確保する。</p> <p>○橋梁長寿命化修繕計画に基づく老朽橋の架け替えを実施する。</p>				
事業のコスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	<p>○道路拡幅により、車両の交通環境が改善する。</p>				
総合評価	本事業は安心・安全な通行環境の向上を図るため、新規着手の必要がある。				

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	令和元年 7月 12日												
		作成部署	建設交通部 道路計画課												
事業名	私市大江線(相長橋) 防災・安全交付金事業	地区名	福知山市私市地内												
概算事業費	約2.0億円	事業期間	2019年度～												
事業概要	河川改修に合わせ、幅員狭小のうえ老朽化による損傷が顕著な橋梁を架け替え、円滑な通行を確保する。【橋梁架替 橋長：22.6m 幅員：7.5m 2車線】														
目指すべき環境像	河川を始め周辺環境へ配慮した施工を行う。														
関連する公共事業	相長川総合流域防災・統合河川(防災・安全)工事(平成26年度～)														
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主要な評価の視点</th> <th>選定要否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地球温暖化(CO₂排出量等)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地形・地質</td> <td></td> </tr> <tr> <td>物質循環(土砂移動)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野生生物・絶滅危惧種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>生態系</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					主要な評価の視点	選定要否	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	○	地形・地質		物質循環(土砂移動)		野生生物・絶滅危惧種	○	生態系
主要な評価の視点	選定要否														
地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	○														
地形・地質															
物質循環(土砂移動)															
野生生物・絶滅危惧種	○														
生態系	○														
その他															
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	<p>道路幅員が狭いことから、過度なアクセルワークが生じており、CO₂排出量を削減する必要がある。</p> <p>市内で指定希少野生生物が確認されている。河川をはじめ周辺環境へ配慮した施工を行う。</p>	<p>現道を拡幅することにより、円滑な通行環境を確保し、CO₂排出量の削減を図る。</p> <p>野生生物の個体の生息又は生育への環境を最小限となるよう配慮する。工事中は濁水などが周辺に流出しないように実施する。</p>	4											
	地形・地質														
	物質循環(土砂移動)														
	野生生物・絶滅危惧種			3											
	生態系			3											
	その他														
生活環境	ユニバーサルデザイン	<p>事業実施により発生する建設発生土、資源の再利用に努める必要がある。</p> <p>コンクリート殻等は再資源化施設へ搬出するとともに、再資源の利用に努める。</p>													
	水環境・水循環														
	大気環境														
	土壌・地盤環境														
	騒音・振動														
	廃棄物・リサイクル			3											
	化学物質・粉じん等														
	電磁波・電波・日照														
その他															
地域個性・文化環境	景観														
	里山の保全														
	地域の文化資産														
	伝統的行祭事														
	地域住民との協働														
	その他														
外部評価															